

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	生活衛生金融対策費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成11年度		担当課室	生活衛生課		生活衛生課長 依田 泰		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅱ-5-1 生活衛生関係営業の衛生水準の確保及び振興等により、生活衛生の向上、増進を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本政策金融公庫(国民一般向け業務)が行う、「生活衛生改善貸付」、「新創業融資制度」、「災害貸付」、「特定の政策目的に沿って設けられている特別貸付」及び「第三者保証人不要融資制度」を円滑に実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○補給金 生活衛生関係営業者に対して無担保・無保証人で融資する「生活衛生改善貸付」及び「特定の政策目的に沿って設けられている特別貸付」等の貸付金利を低減するため、利ざやの減少分を補給するものである。 現下の厳しい経済情勢の中で、生活衛生関係営業者の衛生水準の維持向上及び早期の経営健全化並びに雇用の創出等を図っていく上で必要な低利の政策金融を維持していくために不可欠のものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	1,229	1,532	1,587	1,705	2,129	
		補正予算	223		314			
		繰越し等						
	計	1,452	1,532	1,901	1,705	2,129		
	執行額	1,452	1,522	1,878				
執行率(%)	100	99.4	98.8					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	生活衛生貸付の貸付実績(金額) 目標:生活衛生関係営業者の資金繰りの円滑化を図る。 ※貸出業務の規模は、経済環境等により大幅に増減するため定量的な目標値設定は困難。		成果実績	億円	625	516	538	※
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	生活衛生貸付の貸付件数		活動実績 (当初見込み)	件	12,081 ()	10,118 ()	9,509 ()	- ()
単位当たりコスト	貸出1億円あたりの年間コスト 1.22百万円		算出根拠	貸出額を1億円と仮定し、当該貸出金額に平均的な補給率1.22%を乗じて算出。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	日本政策金融公庫補給金	1,705	2,129	25年度以前の貸付分と26年度貸付分の利子補給を行うための増				
	計	1,705	2,129					

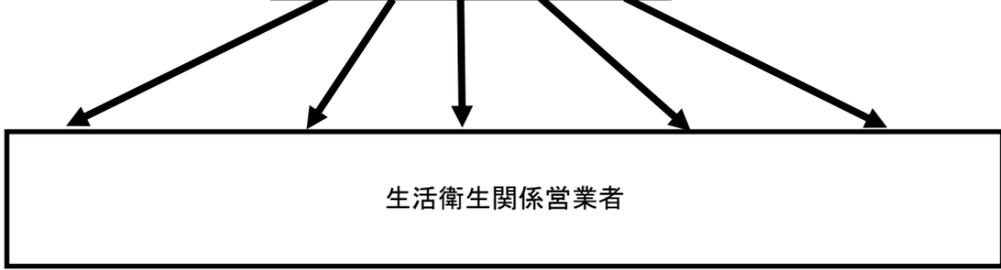
事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費 必要 投入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	生活に密着した生活衛生関係営業の衛生水準の維持向上は広く国民のニーズがあり、国費を投入して目的を達成すべきである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	一般の金融機関が行う金融を補完することが目的となっており、生活衛生関係営業者が融資や利便性について不安にならないため、国が行う必要がある。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	生活に密着した生活衛生関係営業の衛生水準の維持向上のため優先度は高い。		
事業 の 効率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	貸付実績を考慮して支出を行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	貸付金利を低減し低利な貸付金利となっている。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	生活衛生関係営業業者へ早急かつ適切な資金繰り支援を行う。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	貸付金利を低減するため、利ざやの減少分を補給するものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業 の有 効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	助成などでは賅えない部分を融資で補っており、経営健全化に高い手段となっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	貸付実績を考慮し、見込みを算出している。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	<p>本事業は株式会社日本政策金融公庫が生活衛生関係営業業者に対し政策的に利率を引き下げて貸付を行った場合に、その貸付の利ざやの減少分について財政支援を行い、同公庫の融資業務の円滑な実施を図るものであり、既貸付にかかる補給金は、金利を変更できないことから、確実に予算措置する必要があり、新規貸付分にかかる補給金は予算措置が不足すれば顧客負担にならざるをえず、適正な予算額の確保が重要である。</p> <p>平成24年度の貸付実績(金額)は538億円であるが、貸出業務の規模は経済環境等により大幅に増減するため、近年の貸付実績だけでなく、将来の景況等を総合的に勘案し、引き続き正確なニーズ把握に努めることとし、適正に概算要求へ反映する。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	生活衛生関係営業業者の衛生水準の向上及び経営健全化のために必要な低利の政策金融を推進するための経費であるが、経費の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	370	平成23年	321	平成24年	280

厚生労働省
1,878百万円

{ 貸付制度の設計 }



A. 株式会社日本政策金融公庫
1,878百万円



生活衛生関係業者

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位: 百万円)

A.株式会社日本政策金融公庫			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補給金	生活衛生関係業者に対する融資	1,878			
計		1,878	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト
A.株式会社日本政策金融公庫

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社日本政策金融公庫	生活衛生関係業者に対する融資	1,878		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					